

2019年10月 発行

題字：山下公子

# はるの里 通信

発行元 社会福祉法人 はるの里  
生活介護事業所 はるの里

〒615-8241 京都市西京区御陵谷町 7-1  
TEL/FAX 075-394-5930  
URL <https://harunosato.com>

はるの里ホームページが新しくなりました！  
はるの里の歩み、仲間たちの今、ぜひご覧ください！  
URL <https://harunosato.com>

はるの里の考え方

事業所紹介

情報公開

求人情報

コラム



“実りの秋” “芸術の秋” “おいしい秋” そしてなんと言っても “はるの里  
まつりの秋” です。一人ひとりの思いを伝えあい、みんながつながって、  
だれもが笑顔輝く社会にと元気に開催します。

# 法人報告

1981年に2人の障害のある仲間で産声をあげた“はるの里”。多くの方に支えられ障害のある人もない人もだれもが大切にされる社会になるよう39年目を歩んでいます。

無認可共同作業所から社会福祉法人格を取得したのが2001年9月。運営の責任をもつ機関が理事会になり、以来はるの里の運営の安定化、将来構想づくりとあわせて地域福祉の向上に取り組んでまいりました。

6月17日の定時評議委員会で新役員が選出、同日の理事会で吉川新理事長が選出されました。新法人役員一同これからもみなさまとご一緒に歩んでまいります。

## 退任のご挨拶

退任にあたり、前任運営委員長の池添素さんと村井施設長が訪ねて来られた日のことを思い返しております。

法人格を取得するためには、「行政内に住む役員であることが望ましい」と言われているので引き受けてくれないかということでした。お断りしたのですが、一度見に来てほしいと言われ、妻と出かけました。そして、お引き受けすることになったのです。

勤務するわけではないので、理事会の時、行政との対応が必要なとき、移転のとき、「はるの里まつり」の挨拶くらいしかしていないので、お役にも立たない理事長だったろうと申し訳なく思っております。

はるの里の職員・保護者の方々やきょうされんの努力によって「障害」に対する社会の理解は少しずつ進んでいると思いますが、国や自治体の制度や措置はまだまだ不十分です。みんなが楽しく暮らせる日が一日も早く来ることを願っております。

黒住嘉輝

## 新任のご挨拶

このたび黒住前理事長の後任として、はるの里理事長に就任いたしました。理事に就任以来十余年、いきなりの大役に身の引き締まる思いをいたしております。

無認可共同作業所として発足以来約40年。先人の尽力に加え、仲間、保護者、職員、そして地域の方々はじめ、あらゆる力が一つになっての歩みであったと、改めて感じ入っております。

生産性なる言葉がもてはやされ、成果第一主義の風潮がますますはびこる昨今、障がい分野でも、ちょうど私が理事に就任した頃に施行された「自立支援法」が一つの転換点になってしまったことは否めません。一人ひとりが輝き発達していく社会を目指すなかで、立ちはだかる難題は多く、また職員確保など直面する課題も抱えておりますが、着実な歩みを続けてきたはるの里の歴史に学びつつ、歴代役員各位の驥尾に付して微力を尽くしていきたいと思っております。

一層のご支援・ご指導をお願い申し上げます。

# 私が思うはるの里 No.13

このコーナーでは、はるの里に関わっていただいている方や地域の方に「はるの里」をどのように思っただけられているのかをお聞きしています。

今号は、とてもパワフルでお話するたびに元気をわけていただける田中與念子さんにお話を伺いました。

生きることを教えてくれたボランティア活動 ～みんなの心の灯を～  
社会福祉士 田中與念子

私とはるの里との関わりは5年になります。京都生協エリアメンバーだった私は、はるの里のボランティア実行委員会にエリア活動の一環として関わることにしました。京都生協エリアメンバーボランティアは、1年目は私一人の参加でしたが、翌年にはボランティアに協力してくれるエリアメンバー1名、その翌年には2名と増えていきました。4年目にエリアメンバーを外れたのでこれからは一社会福祉士として参加しようと決め、昨年から“個人”ではるの里まつり実行委員となりました。

私が社会福祉に関わったのはもう45年前の高校1年生の秋でした。クラスの文化企画を何にするかという議論が始まりです。まず6班に分かれてからの話し合いから始まりました。班討論の結果、社会福祉に関する展示と決定。次にクラス討論。私は自分のクラス全体に話し、私が提案した通りになりました。私は実行委員長になり企画を推進しました。文化祭までの2か月間、様々な企画をしました。クラスに障害者運動をされている方を招いてクラス全体で聞いたり、手分けして行政に行ったり、福祉パネルを借りに行ったり…たくさん企画をしました。私は社会福祉協議会に行ったり、ボランティア協会から紹介されて、実際ボランティア活動にも行きました。行った先は甲山学園でした。ここは既に無くなっており、中度・重度知的障害児の施設となっていました。施設では職員の方たちが腰痛等に悩みながらもどうすればいいケアが出来るかと話し合っていました。文化祭にみんなに伝える手段として展示とパンフレット作成をしました。展示・パンフレットのタイトルをクラスで話し合いました。クラスメイトからは「愛の手を」等の案が出されました。でも私は、私がこの2か月で学んだことは違うと思いました。私の学んだことは何か…と考えた時「生きるとは」だと思い、クラスに提案。タイトルは「生きるとは」に決定しました。

この経験はその後の私に大きな影響を与えました。大学でも社会福祉学を学び、社会福祉士になりました。人生その後も沢山の困難がありました。でもそんな時にも私の生きることに對するブレはありませんでした。私には4人の子供がいます。もうすでにみんな大きくなったのですが、その子どもたち全員を私はホームレス支援ボランティアに連れて行っています。人生山あり谷あり、どんな時にも生きることに對する基軸はブレないでとの思いを込めて一緒にボランティア活動に参加してきました。子どもがクラスでホームレス支援ボランティアのスピーチを行い、それを聞いたクラスメイトが参加してくれたこともあり、みんなの心に生きる灯をつけられたかな…これが私のボランティア活動の原点。

はるの里のボランティア活動も地域が一体となって優しい街づくりをしていけると関わった誰もが心に光を灯すものであってほしいと思っています。出来ます、はるの里だから…。

# 仲間の様子 ～まつり準備編～



はるの里では、「作業」として、織物や染め物に取り組んでいます。  
織物は何日もかけてコツコツと取り組んでいて、織り上がると満面の笑み+(良い意味で)ドヤ顔で披露してくれます。

染め物は生藍染めを中心に、取り組んでいます。藍の葉っぱをちぎってミキサーに入れる、藍の液を濾す、染めた布の水を切る…など仲間一人ひとりの“得意”“好き”を活かして一枚の布を染め上げます。

はるの里まつりでは「仲間の店」で製品として販売します。私たちの自信作ぜひご覧ください。また、「とっても素敵!」とお買い求めください!お待ちしております!!



2019年

第 21 回

主 催 / はるの里まつり実行委員会

# はるの里まつり

と き **11月17日(日) AM10:30 ~ PM2:30**

と ころ **はるの里** 雨天決行

後援 **西京区社会福祉協議会・松陽社会福祉協議会**

地域の方々との交流を深めるために  
今年も元気に「はるの里まつり」を  
開催いたします！  
たくさんの方と出会えるのを楽しみにしています。

## まつり内容

- バザー** 日用品・食料品・衣類など  
掘り出し物がいっぱい
- 模擬店** 焼きそば・フランクフルト  
おでん・炊き込みご飯などおいしいよ♪
- ステージ** 障害のある仲間のステージなどみんな  
で歌ったりして盛り上がりよう

★他にも楽しい企画が目白押し★



会場には駐車場がございませんので  
公共交通機関をご利用のうえご来場ください。

## バザー物品【新品】をご提供ください

食料品・洗剤・タオルなどよろしくお願ひします！  
お手伝いいただけるボランティアさんも大募集

生活介護事業所 はるの里

詳しくは→→

京都市西京区御陵谷町7-1 TEL 075-394-5930

HP [www.harunosato.com](http://www.harunosato.com)

(AM8:30 ~ PM5:00)

# 社会福祉法人 はるの里

# 2018年度 決算報告

## 事業活動収支計算書

2018年4月1日～2019年3月31日

勘定科目	決算
サービス活動収益計	54,203,474
サービス活動費用計	48,397,670
<b>サービス活動増減差額</b>	<b>5,805,804</b>
サービス活動外収益計	268,273
サービス活動外費用計	917,145
<b>サービス活動外増減差額</b>	<b>△ 648,872</b>
<b>経常増減差額</b>	<b>5,156,932</b>
特別収益計	0
特別費用計	0
<b>特別増減差額</b>	<b>0</b>
<b>当期活動増減差額</b>	<b>5,156,932</b>
前期繰越活動増減差額	62,385,182
<b>当期末繰越活動増減差額</b>	<b>67,542,114</b>
<b>次期繰越活動増減差額</b>	<b>67,542,114</b>

## 資金収支計算書

2018年4月1日～2019年3月31日

勘定科目	決算
事業活動収入計	49,384,000
事業活動支出計	51,032,000
<b>事業活動資金収支差額</b>	<b>△ 1,648,000</b>
施設整備等収入計	0
施設整備等支出計	3,700,000
<b>施設整備等資金収支差額</b>	<b>△ 3,700,000</b>
その他の活動収入計	0
その他の活動支出計	0
<b>その他の活動資金収支差額</b>	<b>0</b>
<b>当期資金収支差額合計</b>	<b>△ 5,348,000</b>
前期末支払資金残高	0
<b>当期末支払資金残高</b>	<b>△ 5,348,000</b>

## 貸借対照表

2019年3月31日現在

資産の部		負債の部	
流動資産	70,355,793	流動負債	7,568,809
固定資産	94,216,789	固定負債	66,840,750
		<b>負債の部合計</b>	<b>74,409,559</b>
		純資産の部	
		基本金	21,395,481
		国庫補助金等特別積立金	1,225,428
		次期繰越活動収支差額	67,542,114
		(うち当期活動収支差額)	5,156,932
		<b>純資産の部合計</b>	<b>90,163,023</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>164,572,582</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>164,572,582</b>

脚注1. 減価償却費の累計額 25,695,286

## 社会福祉法人はるの里後援会報告

2019年3月31日現在

収入の部	
2017年度繰越	4,540,828
受け取り利子	36
はるの里まつり	598,428
2017年度後援会費	183,000
雑収入	0
<b>合計</b>	<b>5,322,292</b>
支出の部	
きょうされん賛助会費	18,000
手数料	80
2017年に繰越	5,304,212
<b>合計</b>	<b>5,322,292</b>

○2018年度後援会費は35人・団体より183,000円いただきました。

## 空き缶回収へのご協力ありがとうございます

仲間（利用者）のリサイクル活動による6月～9月の収益は、25,800円でした。収益金は、仲間の給料・ボーナスとなります。ありがとうございます。



### 空き缶回収に関するお願い

いつも空き缶回収にご協力いただき、ありがとうございます。

「もっとお仕事がしたい」「お給料をつくるんだ」という仲間の願いを実現するために、皆様に広く空き缶回収のご協力を下記のようにお願いします。

- ① はるの里まで持ってきていただく。
- ② お電話していただければ、回収に伺います。
- ③ ご提供いただく空き缶は、仲間が手にしますので、洗って乾いたきれいな状態をお願いします。
- ④ スチール缶やペットボトル、空ビンは回収対象ではありませんので、とり除いてください。

何卒ご理解、ご協力いただけますよう、どうぞよろしく願いいたします。



### 寄付 ※関係者からの寄付は除く

2019年6月21日～10月3日

松陽学区民生児童委員協議会様	金一封・お菓子	K様	掃除機
京建労西京支部様	金一封	T様	絵本・お菓子
Y様	飲み物	Y様	お菓子
大八木明様	金一封	(株)朱常分店様	バナナ
K様	飲み物		

ありがとうございます